

月刊 ひでかじ



3
2012
WINTER

2月26日に初台 The DOORS にて「第16回 SKi のカウント・ダウン 100」公演が行われました。レパトリー 1200 曲以上の中から、ファンさんやメンバー・関係者たちが投票して選ばれた上位 100 曲を発表する恒例のライブです。メンバー紹介に続いて、まずは惜しくも 100 位内に入れなかった 101 位～150 位の曲を発表します。早くもたくさんのお客さんが紹介されて、お客さんのどよめきが起きます。『心の行方』『私らしく』『ダンシングセブンティーン』『シャララ』が 100 位に入れなくてショックだったと花梨ちゃん。今年たくさん歌って次のカウントダウンに入って欲しいとのこと。いよいよベスト 100 を発表...する前に、記録について説明を。過去 15 回のカウントダウンで『清く正しく美しく』『地球に愛を』が 11 回ベスト 10 に、『地球に愛を』『SKi のテーマ』『天使の翼』が 4 回目のベスト 1 にリーチがかかっているとか。『地球に愛を』は 8 回ベスト 3 に入っているとのこと。また、ベスト 10 に 1 度しか入ったことが無い曲が 34 あるらしい。前回初登場でベスト 10 に入った 3 曲にも注目して欲しいとのことでした。まずは 100 位から 81 位までを発表します。この中からは 4 曲披露されました。続いて愛沙ちゃんと結菜ちゃんが 80 位から 61 位を発表。この中には投票した曲が無かったと結菜ちゃん。何を投票したの?と聞かれて、「あれです...」と答える結菜ちゃんに、「どれよ!」と激しく突っ込む愛沙ちゃん(^^;)。この中からも 4 曲披露されました。60 位から 41 位は美香ちゃんと朱里ちゃんが担当します。『シャララ』が 1 位と予想していたと笑いを取る美香ちゃん(^^)。『ダンシングセブンティーン』が 100 位に入っていないと残念だったと朱里ちゃん。「昔は 1 位だったことも...」と黄昏れる美香ちゃんでした。この中からは 5 曲披露されました。今回は新しい制服の衣装で、青色がさわやかと杏奈ちゃん。“香取が 1 号なんだよ”という制服が初めてで嬉しくて、目に焼き付けておいてと優花ちゃん。「1 号にもかかわらず汗を...」と愛沙ちゃん(^^;)。ほっそり見える“A ライン”が嬉しいと花梨ちゃん。そのまま新制服で新曲コーナーで『きりん』『PROTESTER』『は～い』を披露しました。休憩を挟んで、アコースティックで『My Little Boy Friend』を披露。今回が初披露ということで、手拍子の練習をしてからの披露となりました。まだサビの部分しか出来ていないようで「発音もしっかりできるようにします」と杏奈ちゃん(^^;)。40 位～21 位は優花ちゃんと結菜ちゃんが担当。『Happy Happy Birthday』がランクインしたということで、2 月生まれのお客さんからジャンケンで勝ち抜いた方を祝福しました。20 位からは得点も発表され、上位 3 曲はファンファーレ隊も登場して盛り上げます。今年は 5 位『クルクル・ハンカチーフ』、4 位『名もなき声に』、3 位『原発さえなければ』、2 位『悪魔・野田・TPP』、1 位『ダッ!ダッ!脱・原発の歌』となり、キャンペーンや脱・原発アクションでいろいろなイベントに参加したことが反映された結果となりました。最後は“ベスト 5 + αライブ”と題して、今回のベスト 5 に輝いた曲と、過去の上位曲も交えて盛り上がりしました。『清く正しく美しく』『地球に愛を』は共に 12 回目のベスト 10 入りで、毎年上位に入ってますと杏奈ちゃん。1200 のレパトリー 1 曲 1 曲が私たちの大切なものなので、大事に歌っていきたくて、最後に 3 本締めをして終了となりました。



朱里・まあや・結菜・美香
花梨・愛沙・杏奈・優花

3月1日に初台 The DOORS にて「Happy Thursday 記念日 Vol.10」が行われました。参加メンバーは杏奈・花梨・優花・愛沙・結菜・朱里・まあやの7人。3月3日はひな祭りですが、耳の日でもあるとのことでMCテーマは「ひな祭りについてと、耳の日について」。昨年の3月3日は中学最後の授業で球技大会をしたと愛沙ちゃん。見事優勝したそう。耳についてはメンバーに小さいと言われたとか。豆知識で、「みなさんメモしておいてくださいね」と愛沙ちゃん。毎年母と一緒に飾るのが行事になっているとまあやちゃん。出すのに1時間かかるけど、完成したらすごく綺麗になるのが楽しみで飾っているとか。耳については興味を持ったことがないけれど、福耳だと将来お金持ちになると聞いて、私も福耳だと良かったと思ったとか。幼稚園の頃にひな壇を自分で創ったと優花ちゃん。折り紙で創った思い出があるそう。耳については顔の比率に対して大きいと言われたのがショックで、猿みたいといわれて心に残っているとのこと。毎年飾っているけれど、寝室の目の前に飾ってあって昼間は可愛らしい人形達だけれど夜は怖いと花梨ちゃん。恐がりで自分の部屋に行くのも大変で、お布団に入っても目を開けると何か見えそうですぐ熟睡するようにしているとか。耳のことを調べようと本を読んで、電車でいろんな人の耳を見るようになったとか。普段注目することがなかったのでいろんな耳を見て楽しいそう。3日前くらいにひな人形を出したと朱里ちゃん。よく見ると顔がリアルで怖くて1人で出せないとか。昔は飾ってたけれど、最近は出すという行為がめんどくさくなって忘れられていると杏奈ちゃん。ひな祭りが過ぎたら早く片付けないと結婚が遅くなると聞いて、「早く片付けて!」と言っていたとか。耳については、福耳といわれることがあって、むしろチャームポイントがあるんじゃないかと思っていたそう。両耳にほくろがあると結菜ちゃん。頭髪検査でピアスと間違えられて、あまり良い思い出がないそう。ひな祭りは毎年飾っていて、小さい頃の写真が入った写真立ての後ろをねじるとひな祭りの音が流れるようになっていて今でもそれで遊んでいるらしい。プレゼントコーナーでは、ひな祭りに関するクイズを出題。「ひなあられは東西で味が分かれていて、東は甘い感じで、西は何味?」と花梨ちゃん。「しょっぱい」とのこと。「ひな祭りは英語で何というか?」と愛沙ちゃん。「Dolls' Festival」ですが、「Doll って人形って意味なんですか?」と花梨ちゃん。日常生活で聞きますか?と突っ込まれて、「聞かない、帰国子女です」とか(^^;)。「ひな祭りの別名は何の節句?」と朱里ちゃん。「桃の節句」との関係が気になる杏奈ちゃん。「ひな祭りの定番といえばハマグリのお吸い物・ちらし寿司・ひなあられですが、この中で私が好きなものは?」と花梨ちゃん。「ひなあられ」が好きとのこと。でも、杏奈ちゃんは甘くて嫌いらしい。「しょっぱいひなあられなら良いのでは? 杏奈さんは関西人ですね」と声がかかり、「なんでやねん!」とかえす杏奈ちゃん。微妙な空気が流れて、「ちょっとすべった…。こんな3月の始まり嫌なんですけど…」と落ち込む杏奈ちゃん(^^;)。気を取り直してクイズを続けます。「5人囃子の中で、楽器を持っているのは何人?」とまあやちゃん。3人が太鼓・1人が笛・もう1人が歌の担当とか。「ひな人形はひな祭りが終わったらすぐに片付ける言い伝えがあるけれど、なぜ片付けなければいけないのか?」と結菜ちゃん。「カビが生えるから」だそう。「ひな祭りは何時代に伝わったかわからないけれど、9人組で韓国からやって来た歌のグループは何時代?」と杏奈ちゃん。「少女時代」が答えで、「1人ぐらい変な問題があっても良いかなとひねってみた」とのことでした。



結菜・まあや・朱里・優花
花梨・愛沙・杏奈

3月3日に初台 The DOORS にて「みみの日記念コンサート」が行われました。まずは『みかづき』を替え歌にした『耳の歌』でオープニング。杏奈・優花・愛沙・朱里・まあやの5名であいさつをした後、耳博士の花梨ちゃんを迎えます。ネコ耳をつけての登場に、お客さんから歓声が上がりました。まずは耳の大小で占いを。大きい耳の方は住んでいる所や生まれた場所より遠くに縁があるらしい。世界へ向けて羽ばたこうと杏奈ちゃん。でも初台にも来てねと花梨ちゃん。小さい耳の方は近くに縁があるので地元が良いらしい。愛沙ちゃんと朱里ちゃんは、初台を応援する初台ガールズに任命されました(^^)。続いて耳の位置について。鏡を見たときに大きく見える人は前の方についていて、考えるよりも即行動するタイプとのこと。小さく見える人は後ろの方についていて、慎重に考えて、誰かに背中を押されて行動するタイプとか。また、正面から見て全体が見えるのが“立ち耳”で全体が見えずに頭に張り付いたような感じが“寝た耳”とか。優花・杏奈・まあやは“立ち耳”で考えるより即行動タイプらしい。「それは違うなあ」と杏奈ちゃん。「反論した人はすぐ退場に...」と言われて、「私がいなくてやっていけませんか?」と即反撃する杏奈ちゃんでした(笑)。愛沙・朱里は“寝た耳”であんまり感情を表に出さないタイプとか。こちら「楽屋でズバズバ言っていますよ」と愛沙ちゃん。「これも一つの参考ということで...」と少しばかり花梨先生でした。みなさんも後で鏡を見てくださいとアナウンスしますが、DOORS のトイレにも鏡があるけれど今はダメですよ!と釘を刺され、即行動しようとしていたお客さんが足を止めていたようだ(笑)。更に細かく診断を。長生き耳・絶好調耳・肉食系耳・モテ耳・食いしん坊耳・カリスマ耳・決断が早い耳・ワールドワイド耳・情熱耳・王様耳・誠実耳・縁の下の方持ち耳・天才耳・坂本龍馬耳・マイペース耳・ナイーブ耳などがイラスト付きで紹介されます。耳の形の診断を聞いて「私はこれだな!」と勝手に宣言するメンバーたち(^^)。最後にメンバーの耳の写真が映し出され、花梨博士が診断します。杏奈ちゃんは“絶好調耳”とか。耳全体に厚みがありパーンと張ったような感じで、何をしても大成功で絶好調を自分でも体感する耳らしい。対処法としては、ストレートに求めて自信を持たせるのが良いそうだ。愛沙ちゃんは“晩成耳”。若い頃は自分のやりたいことがなかなか見つけれず、30歳前後に転職することが多いとか。ノンビリしていて慎重だけれど、考えすぎることがあって臆病とのこと。花梨ちゃんは“決断が早い耳”。耳が全体的に小さくて何事にも即断即決するタイプらしい。あまり先のことを考えなく、貯金が苦手とか。いつも新鮮な環境にいないとストレスを感じるらしい。まあやちゃんは“カリスマ耳”。耳の縦中央に穴があり上下のバランスが同じ面積で、完璧を求める人らしい。人には真似できない世界観があって、それを極めると大成功するそうだ。優花ちゃんは三日月型の耳で、“お気楽耳”とか。好きなことや特技を仕事にしている人が多いそうだ。朱里ちゃんは“ナイーブ耳”で、結菜ちゃんは“人見知り耳”だそうだ。今回はゲストも駆けつけていて、まずは「押上ハウチュ」の2人が登場。自称スカイツリー親善大使で、勝手にスカイツリーを宣伝しているそうだ。ちなみにゆきみ副大統領は長生き耳、ほたる総理大臣はカリスマ耳らしい。続いて「GAL♡DOLL」から西永・江崎の2人が登場。西永さんはナイーブ耳、江崎さんはモテ耳らしい。今回は耳について語りましたが、コンサートと言うことで、最後は曲で盛り上がって終了しました。



結菜・まあや・朱里
花梨・杏奈・愛沙・優花

同日に「橋本美香ソロコンサート」が行われました。久し振りのソロコンサートで、美香ちゃん自身も楽しみにしてきたそう。今日はひな祭りですが、昔はおひな様を出していたけれど、最近はおひな様...と美香ちゃん。しまい忘れるとお嫁に行けなくなると聞くのでもう出さない方が...とツイート(^^;)。今日はたくさん曲を歌うので楽しんでと美香ちゃん。先日カウントダウンのコンサートが行われ、今までとは違う結果になったけれど、“想定内”と美香ちゃん。2011 年を映した結果だったのかなと思っているとのこと。今回は「457 回制服の日」となっていて、50 何回くらいから出ているので、何百ステージも立ってきたんだなと美香ちゃん。こうして歌ってられるのが幸せだそう。入場時に BGM で流れていた『ワースト』というアルバムが、美香ちゃんの初レコーディングアルバムになるとのこと。『恋のインビテーション』を収録したけれど、本当に歌が下手で、負けず嫌いで夜中もずっとスタッフに時間を割いてもらっていたと、当時のエピソードを語ります。「そんな私が本を...」と言うと、一斉に驚くお客さんたち(^^;)。「初めて聞くようなノリで、上手いですね」とお客さんを褒める美香ちゃんでした。「サイン会は？」の声に「開いたら来てくれますかぁ...」と自信なさそうな美香ちゃん。果たして実現するのでしょうか？ 今年が SKi20 周年という節目の年ですが、10 周年がちょっと前の感じがするとか(^^;)。20 周年は盛大にお祝いしたいと美香ちゃん。OG にも声を掛けているとのこととお楽しみにとのことでした。アコースティックの準備をしているときに「よいしょっ！」と声を出してしまう美香ちゃん。最近口癖になっているらしい。新曲の『Love Song For You』も披露されました。本当は菊池琢己さんと一緒にと思ったけれど、出来たてのホヤホヤということで、次の曲から琢己さんと“DUET”します。琢己さんと一緒にステージも久し振りと美香ちゃん。最近はお脱・原発のイベントが多くて 1 曲で呼ぶのも...と美香ちゃんが言うと、「喜んで行くので呼んでください」と琢己さん。2 人の息のあった演奏が会場を包みました。このライブには最近のイベントなどで知り合った方たちが駆けつけていて、その紹介も行われます。何の前触れもなく紹介したと美香ちゃん。突然呼ばれたにもかかわらず笑顔で会釈をするみなさんでした。ゲストに SKi メンバーも登場して『雨に消えた初恋』など 2 曲と一緒に披露します。カウシルズのカバー曲ですが、「牛は食べるものですか？」に「はいっ」と素直に答える杏奈ちゃん(^^;)。ここで美香ちゃんはお色直しと言うことで、ステージを離れます。残ったメンバーは琢己さんのギターに合わせて『No where Man』を披露。音楽教室みたいと杏奈ちゃん。歌い終わって「先生どうでしたか？」と聞きますが、「バッチリです」の答えに笑顔が弾んでいました。「着替えてきました～」と美香ちゃん。ドレッシーな感じが栄えています。『グレイトフル・デッドを聴きながら』を披露したところでメンバーはステージを後にします。「みなさんの目がメンバーに行ったままだと歌いづらい」と美香ちゃん(^^;)。『みかづき』を披露して“美香好き”なお客さんの視線を集めます。あっという間に時間が過ぎてアンコールに突入します。最後にみんなで『唄わずにいられない』で盛り上がり、ステージは終了...でしたが、もう一曲『声を聴いて』を披露する美香ちゃん。3 日後の 3 月 6 日は母の誕生日でしたが、先月の 23 日に他界してしまったとのこと。いつも笑顔を絶やさずに励ましてくれていたと涙ながらに語る美香ちゃん。そんな母に届くように歌う姿に、会場全体が心を震わせていました。これからも苦しいときでも笑顔を忘れずにいきたいと美香ちゃん。ステージ終了後も、駆けつけてくれたみなさんに笑顔であいさつを交わしていました。

3月17日に初台 The DOORS にて「白石結菜 17 歳のお誕生日会」が行われました。開場時の握手会では、結菜ちゃんから「チロルチョコ」をお客さんにプレゼント。去年はお客さんにもステージに上がってもらってお誕生日会をやったので、今回初めての感じですが新鮮だそう。今日は一人なので「司会者っぽくこんな物を作ってみました」と手作りの「進行台本」をお客さんに見せて拍手がおきます。まだ16歳だけあと3日で17歳ということで20日は春分の日だから覚えやすいかなと結菜ちゃん。17歳を迎える感想では、まだなっていないので何ともいえない感じだけど、あまり変化がなくそのまんまかなと思うとのこと。3月20日は学校が休みなので、「おめでとう」と会って言われることがあまり無いのでお祝いしてもらった思い出があまり無いそう。15歳でSKiに入ったけど当時の思い出はあまり無いので、16歳から入ったことにして...と何故か15歳の頃を無かったことにしようとする結菜ちゃん(^^;)。やることに必死であまり覚えていないとか。お誕生日会の後は震災とかあって、自分にできることは何でもやろうと決めて、何にでも挑戦していこうと考えた年だったそう。17歳になったら何事にも躊躇しないで進んでいくのもいいなと思ったけども、高校3年生になって進路だったり、このまま大学に行かずにSKiをずっとやっていくのを考えたり、SKiと大学を両立していくのを考えたりといろいろ考えた時に、自分にできることは自分の中で把握して、自分の限界を知るというのを17歳の目標にしたいそう。自分の限界を知って、そこに達するために頑張っていこうかなと思っているとか。まだ夢がはっきりしていなくて「大学合格するとか。リーダーの座を奪い取るとか(^^;)」まだ具体的な目標が立てられないそう。最近新人さんが入ってきて、みんなすごく頑張っているけど、初めてする振りが多いので、そのフォローを最近結菜ちゃんや朱里ちゃんがしているそう。目の前に困っている子などがいたら助けに行きたいけど、その勇気があまり出ないとか。これからの抱負は、目の前に困っている人がいたら助けて、自分の夢を見つけるということまでまとまったようだ。今までで1番嬉しかったバースデーは、小学4～5年生の頃に家族で温泉に行ったこと。お墓参りに出かけた帰りに車で寝ていて、起きた場所が温泉の旅館だったそう。食後に停電になったと思ったら、お父さんが旅館のマイクで「誕生日おめでとう!」と言ってきて、それが今までで1番のバースデーだったそう。中学3年生の誕生日は学校が終わっていたので友達に祝ってもらえなくて、当日の0時に友達からメールが届いたけど、毎日一緒にいる友達からはメールが届かなくて、「忘れちゃっているのかな?」と思ったけれど、翌朝に見たら3時20分にメールが届いていたので、そのメールは保護してSDカードに入れて大切なメールとなったそう。それから誕生日にメールを送るときには、その日にちの時間に送るようにしたとのこと。悲しかったバースデーはあまりないそう。子供時代について、幼稚園の頃はしっかり者だったとか。小学校の頃はいつもテストは満点で、「その頃は天才だったんですよ」と過去形にする結菜ちゃん(^^;)。SKiに入る前は中学・高校とダンス部に入っていたのでダンスが好きな普通の高校生だったそう。小学校の頃はバレエやったりヒップホップをしたりしていたそう。学校が終わった放課後にはほぼ毎日「こっくりさん」をやっていたとか(^^;)。今までニュースや新聞を見なかったけど、SKiに入ってから社会活動が多いので興味が出てきて新聞やニュースを自分から見るようになったとか。曲は『キュンとする』『はんぶんこ』を披露。今回は意外な結菜ちゃんの話が聴けて、いろんな一面を知れたお誕生日会でした。



同日に「斎藤美輝・お別れ会」が行われました。志望校が芸能活動禁止ということで、昨年の12月に制服向上委員会を卒業した美輝ちゃん。見事志望校に合格したそう。今回は「お別れ会」と言うタイトルですが、内容は美輝ちゃんのソロライブに。3ヶ月ぶりに歌ってさっそく疲れたとか(笑)。今日はイメージを変えて前髪を下ろしてみたと言った美輝ちゃん。ピンクのワンピースも珍しいですね。受験後は家族で台湾に行ったらいい。「日本語が通じる通じる」と美輝ちゃん(^.^)。SKiに入ったきっかけは、兄がアイドルファンでSKiを知っていて、勝手に応募したらしい。「結構勝手な家族」と美輝ちゃん。でも応募してくれなければ今の私はなかったと感謝しているようだ。『戦争を知らない子供達』は初めてもらったソロ曲で、原曲があると知らなくてSKiのオリジナルだと思っていたらしい。YouTubeで検索して、「お～、これ原曲があるのかぁ」と思ったとか(笑)。『恋は春夏秋冬』は可愛い曲で、歌って良いのかなぁと思うけれど、その辺は考えずに吹っ切れて歌いたいとのこと。SKiで楽しかったことは、FCツアー。自分では旅行へ行かないので毎回楽しみだったとか。ちなみに家族で台湾に行ったときも、強制的に連れて行かれたらしい。「FCツアーも行かなきゃいけないじゃないですか!」と美輝ちゃん。行くときは気分が重いけれど、でも行ったら楽しいとのこと。中でも伊香保がかなりお気に入りらしい。景色が良くて、オーシャンビューよりマウンテンが好きとのこと。辛かったことは再始動の頃。代表曲をみっちりたたき込まれて、完全に覚えていないのにどんどん次の曲へ進んで、あの曲もあの曲も...で「もういいや～」と思ったこともあるとか。今より覚えるのが遅くて辛かったそう。このライブはいろいろ考えて、曲順なども自分で決めたそう。歌いたい曲が暗めやバラードばかりで、これじゃみんな寝ちゃう!と思ったとか(^.^)。『最後の Kiss』は、2回やらせてもらったお誕生日イベントで歌ってる好きな曲で、曲も歌詞も切なくなると美輝ちゃん。最初のお誕生日会は緊張して覚えてないけど、2回目は感情を込めて歌えて良い曲だなぁと思って選んだそう。歌い終わって「現役時代より緊張しないのはなんでしょ～」と美輝ちゃん。上手く歌わなきゃという気持ちが無くなって気持ちが楽になったそう。最初からこうだったら...と振り返ります。『約束』はオケで歌うことが多かったけれど、一度美香さんのギターで、幸せだなぁとかみしめて歌ったことがあるとか。その時に親が来ていて大絶賛してくれたそう。ホントは美香さんのギターで歌いたかったけれど...と美輝ちゃん。『君だけの道』はSKiに入って初めて歌った曲で元気づけられるとのこと。みなさんも元気になってくださいと歌います。今は結菜ちゃんと愛沙ちゃんとみずきちゃんだけになりましたが、「16期生はたくさんいたんですよ」と美輝ちゃん。そういうメンバーと再始動してから忙しくて、アイドルフェスティバルでは知っているアイドルの方と共演するので、レベルアップしようと特訓して結束力が高まったとのこと。その後“脱・原発の歌”で話題になってたくさんのライブに出たりと忙しくなって日々が変わったそう。塾の先生からも「あれって、美輝ちゃんだね」と言われたりと、意外とSKiの事を知っていてビックリしたそう。もっと歌いたい曲がたくさんあったとのことですが、あっという間に終わりの時間に。SKiのライブに遊びに来るのでとりあえず一区切りでと美輝ちゃん。最後に『明日への勇気』を披露。会場を青いライトが照らして、美輝ちゃんの門出を祝福しました。またいつかどこかでお会いしましょうと、笑顔でのお別れとなりました。



3月7～9日にかけて笹塚ファクトリーにて～鎮魂と再生のための演劇集～『賢治まなざし』行われ、会長的美香さんが参加しました。中日は昼・夜の2公演行われ、その模様をレポートいたします。

昼の部は、始めにムカシ玩具の舞香さんのあいさつがあります。舞香さんは宮澤賢治さんの経歴と生涯について話します。1番目は、おはなし工房のばぶさんが「朗読と被災地報告」を話します。2番目が美香さんと舞香さんが宮澤賢治の童話の朗読劇『貝の火』を朗読します。美香さんが主人公のうさぎのホモイ役、そして舞香さんがナレーションとホモイ以外すべて演じました。ある日ホモイがひばりの子供を助けたお礼にと宝珠「貝の火」を手に入れます。透き通った貝殻の中に美しい火が燃えていて、嬉しくて野原に出ると、まわりからホモイは崇められえなくなったとすっかり過信し、自分を見失って横暴になっていくホモイの姿を演じていきます。美香さんは、ホモイ役になると声が可愛い声になり、座って台本を読むだけではなく、ステージいっぱいを使って身振り手振りしながらホモイ役を演じました。休憩を挟んで3番目は、舞香さんといわさききょうこさんの構成劇『賢治のまなざし』の上演。4番目がいわさききょうこLIVEで、きょうこさんがピアノとギターで3曲披露しました。そして最後は美香さんのミニライブが行われます。美香さんが始めに自分の経歴とSKiのグループについて話します。1曲目が『アメリカ』を披露します。次にSKiの次のアルバム『PROTESTER』について話します。2曲目が『メッセージ』を披露し、10日に京都、11日に高崎・大宮・国立を廻ることを話して『原発さえなければ』を披露して美香さんのミニライブは終了。最後に出演者全員が登場して、舞香さんが出演者全員を紹介して公演は終了しました。

夜の部には、ゲストで制服向上委員会が出演しました。夜の部も1番目から3番目まで同じプログラムで行われました。最後に美香さんと制服向上委員会のライブが行われました。参加メンバーは杏奈・優花・結菜・朱里・まあやの5人でした。始めに杏奈ちゃんがSKiのグループについて話します。メンバー紹介の後、1曲目に唱歌の再発見ということで『峠の我家』披露します。結菜ちゃんとまあやちゃんが子供の虐待について話した後『きりん』を披露します。杏奈ちゃんと優花ちゃんがSKiが社会問題や最近の政治家について話して『悪魔・野田・TPP』『ダッ！ダッ！脱・原発の歌』披露した後に美香さんが登場。美香さんがギター演奏で「Memories」を披露します。ばぶさんに紙飛行機の作り方を教えてもらったそうで、施設に行ったときに作りたいと美香ちゃん。続いて『オリーブの樹の下で』を美香ちゃん、『原発さえなければ』を美香さん・杏奈ちゃん・優花ちゃん・結菜ちゃん・朱里ちゃんと一緒に歌ってライブは終了。最後に出演者全員が出て来て、舞香さんが出演者全員を紹介して公演は終了しました。

5月1日発売予定の35枚目となる～生誕20年祭記念CDアルバム『PROTESTER』の“ジャケット撮影の立会い”が3月4日に初台 The DOORS にて行われました。これは昨年9月に生誕20周年特別企画として、“CD制作小口&大口ビックなスポンサー”の募集があり、アルバム製作費を出資するスポンサーになった方への特典企画の一つでした。ジャケット撮影の参加メンバーは杏奈・愛沙・花梨・優花・結菜・朱里・まあやの7人。18時に開場するといつものステージ上には、カメラ機材のスクリーンやストロボ等々が置いてあり、撮影スタジオになっていました。そのステージの下の左手側には全身姿を確認できる大型の鏡が置いてあり、右手側には台の上にノートパソコンが置いてありました。どうやら撮影した写真は無線LANによりデータを飛ばし、リアルタイムで写真を確認できるようです。また、いつもの客席には両端に椅子が置いてあり、スポンサーの方は左手側の席に座ってジャケット撮影風景に立会います。右手側には次の出番を待つメンバーが座って待機していました。すでに撮影は始まっていて、リーダーの杏奈ちゃんがソロの撮影をしていました。メンバーは2月公演で初披露されたライトブルーのジャケットの制服を着用していました。ソロの撮影が着々といわれる中、撮影していないメンバーに対しては、希望する方に対してツーショットボラ撮影も同時進行でこっそり行われていたようだ(^_^;)。ソロが終わると今度は全メンバーが出てきて集合写真を撮影。今回の写真の確認は KAO さんが行っていて、途中髪形をヘアメイクさんが調整して直したり、メンバーの立ち位置を変えたり、高さを調整したり、何度も撮り直しを行っていました。すぐに写真が確認できるためメンバーも自分の撮影された写真を確認していました。休憩を挟み、今度は最近のライブメンバー(杏奈・愛沙・花梨・優花・朱里)だけの集合撮影も行われ、無事に撮影は終了しました。最後に各メンバーから今回のジャケット撮影の感想があり、「もうちょっと良い表情ができるように研究したいと思います」と花梨ちゃん。「撮影の時にお客さんに見られると、見られる意識をもっともつのでこれからも来て下さい」と優花ちゃん。「髪を切った初日でしたが、皆さんからもけっこう好評だったんで、良い写真が撮れていたら良いと思います」と愛沙ちゃん。「こうやってお客さんに見られていると緊張するんですけど、もっと良い表情で撮れるように頑張ります」と朱里ちゃん。「今日ここに参加された皆さんはこの後のレコーディングにも参加されると思うので、これからまだまだ楽しいことがいっぱいあると思いますので、発売まで時間があるんですけどよろしくお願いします。」と杏奈ちゃん。最後に希望者の方にはツーショットボラ撮影が行われ、またスポンサーとメンバーの集合写真も撮って終了しました。



花梨・優花・杏奈・愛沙・朱里

3月4日に千葉と越谷にて脱・原発アクションが行われ、制服向上委員会が参加しました。ほぼ同時刻の開催で、メンバーも分割しての参加となりました。

千葉は「原発さよなら 3・4 千葉集会」と題して千葉教育会館大ホールにて行われました。美香ちゃんと優花・朱里の3名が参加。3.11 からもう1年になるのが信じられないと美香ちゃん。「政府は脱・原発を唱える人々を違うテーマで分断しようとしているけれど、エバーエバーフォーエバーで訴えていきましょう！」と宣言して、『原発さえなければ』を披露しました。千葉県出身ですが、なかなか千葉で歌う機会がなかったと美香ちゃん。悲しくもあるけれど、脱・原発をテーマに千葉で歌うことになったと重々しく語ります。千葉県も汚染が進んでいるということで、出来る限りのことをしたいと思うとのこと。続いてアメリカをテーマにした『アメリカ』を披露。そして「私達は唱歌も歌っている」と『峠の我が家』を披露しました。ここで後輩の二人にバトンタッチして、美香ちゃんは一時ステージを離れます。ステージ上では民主党の岡田副総理が消費税率について語りだし、畠山元総理や菅前総理などが次々と登場します(^_^;)。「政府は情けないから私達は歌います！」と、『悪魔・野田・TPP』を披露しました。「楽しんでいただけてますか？」と美香ちゃん。昨年は脱・原発をアピールするグループとして注目されたけれど、それ以前にもストーカー防止条例の署名運動や、ベトナムへ行って枯葉剤の被害を見てきたりいろいろな活動をしてきたとグループ説明も。最後は『ニッポン』を披露してお別れに...と思いきや、司会者より「もっと聴きたいですね」とアンコールが掛かります。皆さんと一緒に歌えればと『涙そうそう』を披露。会場全体に歌声が響きました。「脱・原発を頑張りましょう！」と挨拶してステージを後にしました。この会場は、小さい頃にエレクトーンの発表会で来たことがあると美香ちゃん。当時は懐かしがっていました。

越谷は「3.4 さよなら原発 in 越谷」と題して南越谷駅前南口広場(ロータリー)にトラックの荷台コンテナを使用して行われました。参加メンバーは杏奈・愛沙・花梨の3名。司会者の開会のあいさつのあと、早速メンバーが登場します。「みなさんこんにちは~。『ダッ！ダッ！脱原発の歌』を歌っている制服向上委員会です」との杏奈ちゃんのあいさつの後、早速1曲目に『ダッ！ダッ！脱原発の歌』を披露します。昨年から原発事故の恐ろしさを伝えるために、いろんなところで歌を歌っていると杏奈ちゃんが説明します。次の曲に入る前に、民主党の岡田さん(花梨)が登場して寸劇が始まります(^_^;)。杏奈ちゃんが菅さん役、愛沙ちゃんが鳩山さん役で話が進み、政府への怒りを込めた曲ということで、『悪魔 No だっ！ TPP！』を披露しました。ここで今日会場で配布しているチラシの裏に『ダッ！ダッ！脱原発の歌』の歌詞が書いてあるので一緒に歌ってくださいと杏奈ちゃんから参加者にお願いが。小さいお子さんが元気な声で「は~い」という声に「ありがとう~」と杏奈ちゃん。最後に『ダッ！ダッ！脱原発の歌』を披露して終了しますが、リレートークを挟んで再度メンバーが登場。杏奈ちゃんから「寒さに負けずに最後にもう一度歌っていききたいと思います」ということで最後に『ダッ！ダッ！脱原発の歌』を披露します。歌い終わって杏奈ちゃんから「みなさん脱原発に向けてこれからも頑張っていきましょう~！」とのあいさつに会場は盛り上がり、会は終了。その後メンバーは参加者の元に行きハイタッチをしていきます。この後パレードがありましたが、メンバーは、このあとジャケット撮影の予定があったためパレードに参加せず会を後にしました。

3月10日に京都市円山公園にて「バイバイ原発 3.10 きょうと」が行われ、橋本美香 & 制服向上委員会が参加しました。メイン集会開始前から円山公園野外音楽堂入口にて物販が行われます。初めに花梨・朱里 & かれんちゃんが登場して、その後杏奈・優花の順に交代します。その物販では購入した CD・フォトブック・もしくはTシャツにメンバー1名がサインをしていました。イベント開始前にも関わらずCDは売れていたようです。13時前になり物販は一時撤収。メンバーは移動し、「フリースピーチ」スペースへ。京大原子炉実験所助教の小出裕章先生 & 制服向上委員会のトークライブが始まります。小出裕章先生のスピーチの後、杏奈ちゃんのあいさつ・グループ紹介に続いて美香ちゃんからもあいさつがあります。昨年8月に日比谷野外大音楽堂で「げんぱつじこ 夏期講習」を行い、小出先生にも出演の依頼をしたけれどもお会いできなかったとか。今回短い時間だけとお話ができるということで楽しみにしていたと美香ちゃん。対談は各メンバーが中・高校生からの視点で分からないことを小出先生に質問する形式で始まります。「原発は再稼働するのでしょうか？」と杏奈ちゃん。「再稼働を阻止できるか」と自信はないが、でも自信がないからとあきらめてしまえば負けてしまうので、あきらめずに再稼働させないようにしたいし、それが若い世代に対する私たち世代の責任」と小出先生。「多くの人に歌で伝えていくことがこれからもできることかな」と返答する杏奈ちゃん。『ダッ！ダッ！脱原発の歌』を歌うことに圧力を受けたという話を聞いて、この日本という国はホントにひどいと思ったと小出先生。この歌をインターネットで聴いた時に「ホロリ」と涙を流したそう。若い人たちが自分たちの想いをストレートに歌っていることが感動的だったし、こんな子たちに放射能で汚れた世界を残していくことに何とも悔しい思いを受けたとか。若い人たちには真っ直ぐに生きてほしいと小出先生。「再稼働をすることによって良いことはあるのか？」と花梨ちゃん。「本当に脱原発ができるのか？」と優花ちゃん。「友達に原発について調べたことを教えているけど、私は関係ないからと言われるので、どうしたらその人たちに届くのか」と朱里ちゃん。「難しい質問ばかり来るなぁ」と言いつつも、それぞれの質問について丁寧に回答する小出先生でした。美香ちゃんは「放射能汚染されたがれきの分散問題」について質問を。とっても難しい質問と言いながらも、全国の自治体のがれきを引き受けるしかなく、燃やした時に放射能が飛び散らない様専用のフィルター等を追加して汚染が広がらないようにすることが第一の条件で、焼却灰ができてしまうから、それを自治体が勝手に埋めるのではなく、東京電力に返すのが筋だと回答し、周りから拍手が起きあがりました。最後に「今日教えていただいたことを胸に、私たちも歌で多くの方に伝えていきたい」と小出先生に感謝の言葉を述べて、大きな拍手の中対談は終了しました。その後メインステージに移動してライブを行います。会場にはたくさんの方が詰めかけていて、入れきれない方もいたようだ。韓国では脱原発を掲げた「緑の党」が結成されて、選挙の時に『ダッ！ダッ！脱原発の歌』などを使用させてほしいと正式に依頼をいただいたと美香ちゃん。私たちも韓国の方々とつながって、できることから始めていきたいとのあいさつの後『原発さえなければ』を披露しました。「民主党に教わったこと」などを言いながら自己紹介。最後に『ダッ！ダッ！脱原発の歌』を披露し、盛大な拍手を受けてステージは終了しました。そのままメンバーは残り、呼びかけ人の方たちが集合して集会決議が行われ、最後にみんなで『We shall overcome』を合唱してメイン集会は終了。その後円山公園から京都市役所まで約1時間かけてデモ行進を行い解散となりました。

3月11日に高崎市城址公園にて行われた「3.11 さよなら原発アクション」に橋本美香 & 制服向上委員会が参加しました。美香ちゃんのあいさつから『原発さえなければ』を披露します。続いて京都のイベント同様に「民主党に教わったこと」などを言いながら自己紹介をします。「民主党に教わったこと。約束は守らなくても良いということ」と杏奈ちゃん。「鳩山さんに驚いたこと。沖縄の米軍基地の騒音を見に行くまで知らなかったこと」と優花ちゃん。「菅さんから学んだこと。苦しむ被災者より、自分の立場を守ること。」と花梨ちゃん。「枝野さんに分かったこと。上手に嘘をつけば、国民は簡単にだませると思っていること。」と朱里ちゃん。そしてもう一つ「野田さんに学んだこと。国民のためでなく、自分の利権を守る政治家だということ。」と優花ちゃん。イベントに参加した方たちの拍手と完成が響いていました。この後音響の調子が悪く、1曲カットして、CDの音源で『ダッ!ダッ!脱・原発の歌』を披露。イベントはまだまだ続きますが、急いで会場を後にしました。続いて大宮のさいたま市鐘塚公園にて行われた「3・11 きずなを結ぶ埼玉のつどい」に参加。こちらはフィナーレで、そのまま閉会式にも立ち会っていました。最後はくにたち市民芸術小ホールにて「国立コンサート」を開催。1日に3ヶ所を巡るという、大忙しの日となりました。

今月の新入生

本日の3月公演で、新たに3名の新人さんが登場しました。

鈴木蘭 **すずきらん** 平成9年8月5日の14歳(中二)、O型。好きな教科は音楽で、嫌いな教科は数学だそう。オーディションを受けた動機は姉がSKiを知っていて、気になって動画を見てメンバーになりたいと思ったからとのこと。学校では器楽部で、バイオリンを弾いているそう。抱負は、歌とダンスを先輩達みたいに上手になれるようになりたいとのことでした。



花咲友理奈 **はなさきゆりな** 平成8年10月31日の15歳(中三)、O型。得意な教科は社会で、数学と英語が苦手とのこと。暗記ものが得意らしい。小学校に入る前から憧れていて、母がSKiが長く続けているから入ってみれば?と勧められたらしい。抱負は、歌やダンスをみんなに負けられないように頑張るとのこと。



牧瀬あおい **まきせあおい** 平成7年7月16日の16歳(高一)、B型。好きな教科は音楽で、数学と世界史が苦手だそう。あおいちゃんも授業でバイオリンをやっているらしい。小さい頃からアイドルに憧れていて、オーディションをやっているのを知って受けたとのこと。抱負は、みなさんに元気を与えられるように頑張りたいとのことでした。



今月のOG

2月26日に秋葉原 Dress AkibaHall にて『princess night out デビューライブ』が行われ、元15期生の京本百加ちゃんがゲスト出演しました。今回は出演者7組中4組目に登場します。「待ってましたの女の子。京本百加ちゃんです。」と紹介され、前回のライブと同じピンクの制服姿で登場し、放課後のチャイムの音が流れると、まずは1曲目にAKB48さんの曲『桜の花びらたち』を披露します。「みなさんこんにちは！北海道出身。高校3年生。じゅうな... 18才の京本百加です(^^;)」と自己紹介して、「いえ～い」と会場が盛り上がります。お客さんの半分以上が百加ちゃんファンだったようだ。今は高校3年生で、もうすぐ高校3年生でなくなってしまうとか。3月7日に高校を卒業するそうで、「何とか卒業できる」ということで「ばんざ～い」と喜ぶ百加ちゃんに、お客さんも「ばんざ～い」とお祝いします。大学にも何とか受かって「4月から大学生になります」とのことでもここでも「ばんざ～い」とお祝いの声が飛び交います。「そんなやったあ、やったあ」と思っていたところ、先日大学から「課題だよ、ほれ！」って感じで課題が送られてきたとか。「大学生になる前に一生懸命課題の方を片づけなきゃいけないな」と思っている今日この頃だそう(^^;)。2曲目にベリーズ工房の『付き合ってるのに片思い』を披露。「もーもか！もーもか！...」コールが飛び交い大変盛り上がりました。「やっぱり毎日歌って踊ってないとこんなに息切れしてしまうんですね」と百加ちゃん。「続いての曲がラスト曲になります。」にお決まりの「え～～～～、今来たばかり～」を相変わらず楽しそうに切る百加ちゃん。最後は『ロマンティック浮かれモード』を披露して、お客さんからは「もーもか！もーもか！...」コールに加えて「大の大人が！大の大人が！」といったコールなども飛び交い、大いに盛り上がってゲスト出演は終了。「やっぱ百加だな～」「だな～」といった声がお客さんから最後に上がっていました。それを聞いた他の出演者から、「すごい団結力」との声がボソッともれていました(^^;)。その後すべての出演者のライブが終了して、最後にステージに出演者が集合しますが、百加ちゃんはゲスト出演なのに強制的にステージの真ん中に居させられます(^^;)。最後にひとりずつ感想ということで、百加ちゃんからは、「今日はありがとうございました。すごく楽しかったです。実は今日のライブでライブ活動を一時的に休止して、これからのことについていろいろと考えてみたいと思っています」とのこと。でも、「ブログの方は、引き続き続けていくので毎日見てください」とのことでした。活動休止宣言については、すごく残念なことではありますが、「休止」ということですので、またいつか百加ちゃんがステージに立つ日が来ることを信じて楽しみに待ちましょう。今回は終演後の物販は無しで急いで会場を後にして、初台The DOORSのライブ鑑賞に訪れた百加ちゃん。メンバーとの再会を楽しんでいたようだ。ツーショットボラ撮影会では、集合ボラにも参加。会場全体から歓迎されていました。



朱里・まあや・百加・結菜・美香
花梨・愛沙・杏奈・優花

制服向上委員会 20年の歴史が凝縮！

脱がない、媚びない、NOと言えるアイドル

～制服向上委員会の生き残り戦略～



著 橋本美香

ヤマハミュージックメディアより発売中!!